



新緑の季節となりました。日頃は弊社をご利用頂き誠にありがとうございます。  
いよいよ暑い日を迎えることとなりますが、皆様におかれましてはますますのご健勝を  
お祈り申し上げます。  
今月はパイプについて簡単ですが、ご説明をさせて頂きたいと思ひます。(業務 功刀)

<編集者>

塚原 佳由  
望月 博隆  
村松 貴  
赤木 健三  
山田 幸平

## 鋼種 Q & A

## ～ 鋼管について ～

### ●パイプの種類 (絵図参照)

- ・シームレス管 ⇒ 円筒状の鋼片(ピレット)に穴をあけ圧延して作る鋼管。強度が大きいのが特徴。
- ・溶接管 (電気抵抗溶接) ⇒ 鋼帯(コイル)を連続的に引出しながら、円形に成形し電気溶接によって溶接接合した鋼管。
- ・溶接管 (鍛接) ⇒ 高温で加熱した鋼帯を引出し円形に変形させ、その両端に酸素を吹き付け強力に突き合わせ熱した鉄片を金槌で叩きながら接合させた鋼管



分類	種類の記号	用途
一般構造用炭素鋼鋼管	STK400・STK500 等	土木、建築、足場、他構造物用
機械構造用炭素鋼鋼管	STKM11A (B) STKM13A (B) STKM16A (B) S45C	機械、自動車、器具、その他の機械部品に使用
配管用炭素鋼鋼管	SGP	圧力の低い水、ガス、空気の配管用
圧力配管用炭素鋼鋼管	STPG370・410 等	350℃以下で使用する圧力配管用
高圧配管用炭素鋼鋼管	STS370・410 等	350℃以下で高圧力の配管用
高温配管用炭素鋼鋼管	STPT370・410 等	350℃以上の温度で使用する配管用

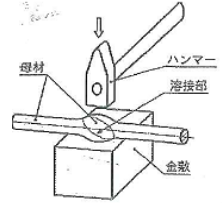
他に、非鉄関係のパイプ  
ステンレス・アルミ・銅・真中・砲金・プラスチック  
も多種ありますのでお問い合わせくださいますよう  
よろしくお願い致します。



継目無(シームレス)鋼管



電縫鋼管



鍛接鋼管

### ★社長のワンポイント★

3月後半に私共の扱っているメーカーである日立金属(株)安来工場に行って参りました。日立金属はグローバルで戦える製品競争力の強化、世界市場に日本ブランドの構築を考え、30年に一度という大型設備の導入をこの数年間で行い、特殊鋼の分野で高品質の鋼削りを目指していく。この方向で様々な改革がはじまります。伸びる市場としては航空機材料・原子力材料・自動車産業材が中心で半導体関係材料は減少する。大きな動きが感じられました。身近な事ではまずはじめに、すでにお知らせ資料を配布しております、日立ブランドであるJIS呼び名(SK材)＝日立ブランド名(YCS3)を鋼種統合が行われ、山陽特殊鋼材のGOと同じ製造材料となります。薄板のゲージ鋼(スキンパス材)に関しても、日立では素材だけ造り、加工工程は別会社で行う。このように素材メーカーの動向が市場と上手く連動しているかというとなかなか、連動と言った形ではありませんが、グローバル化という領域で、素材メーカーも走り出している言う事。冷間ダイス鋼(SKD11)日立名SLDに関して、新鋼種製造の流れで、価格が上昇するような感じが見受けられます。製造業の立ち位置もまさに、変化が必要な時に入ったと・・・トヨタ自動車の「未来」に向けた水素エンジン用の部品等々が良い事例だと思います。グローバル市場という部分、今まで日本という市場での闘いというよりも、世界特にアジアに対しての製造業の立ち位置が重要な視点であるような感じでありました。

【国中エリア動向：塚原】5月の稼働状況は先月と比べ、大分落ち着いてきたように感じます。半導体関係は好調に動いていますが、組立の段階に入り部品の製作は一時休息に入ったようで、その後の内示予定は一部出ているようですが、本発注になるかは未定との事です。車関係は、大きな変動は無いまだに高稼働を続けています。機械、ロボット関係では、企業間の差がはっきりと分かれているようで、5年先までの予定が決まっている企業もあると聞きます。国中地区の5、6月の稼働としては全体的に少し落ち着くようですが、大きな落ち込みは無く8月位には仕事量も増えてくるような話も聞きます。

【郡内エリア動向：望月】4月を終えて突発などがあり、状況は良い方だと感じましたが連休前の4月末から変化がありました。お客様の仕事量が徐々に減っていくのが感じとれました。連休明けにそれが明確になっております。工作機械関連では、相変わらずF社が忙しいそうです。連日残業をしているようですが一次まで溢れた仕事がまわるくらいで、まわりには影響がないのが現状です。M社はあまりよくないそうです。また、郡内における大手企業でも減産などもあり厳しい状況です。自動車関係では、部品によって異なり仕事量にひらきがあるそうです。多くの意見では、6月から少しずつ動くと思解しているお客様がおります。6月に期待を込めて、また状況を報告したいと思います。

【上野原エリア動向：村松・山田】上野原エリアは連休前から仕事量の減少が見え始めました。連休後の発注の増加が有ると思っておりましたが、多少の増加や突発はあったものの、普段より増加の少ない連休明けだのように感じております。しかしながら5月中旬あたりから日に日に仕事が増えてきていると思ひます。全体的に安定した仕事量とは言えませんが仕事が出て来ているようです。半導体や自動車関係は好調な動きをしているようですが、加工する部品・加工する材質などによっても仕事量の違いがあるようです。東京方面のお客様からも受注が減少気味とお話も聞いていましたが、部署によって仕事量に差が有ることです。しかし「6月中旬から仕事が出てくる」や「試作が来る」などの良いお話しも聞いておりますので6月からの動向をしっかり見ていきたいと思ひます。